

以下の情報は、2018 年度以前の入学生用です。

経済経営学類のディプロマ・ポリシー

経済経営学類の教育目標

本学類は、広い視野に立って学識を授け、現代の経済社会を理解し、経済と経営に関わる基礎的・専門的な知識及び能力を身に付けた人材を養成する。

学類ディプロマ・ポリシー

※本学類は、現代社会で起こっている様々な問題に関心を持ち、それらを経済・経営の視点でとらえる能力をもつことによって社会での実践力を発揮できる人材を養成するために、「自立する力」「客観的に観察・分析し、論理的に思考する力」「経済社会で実践し解決する力」の3つの能力をディプロマ・ポリシーとして提示する。

1. 自立する力

職業人、生活者として自立し、社会的、倫理的な観点から自らを律することができる。

I-1 幅広い教養と高い倫理性を身につけている。

I-2 自分の意見を述べ、討論し、文章で表現できるようなコミュニケーション能力を身につけている。

I-3 自己管理能力を身につけ、自分の適性を見定めて、目標設計を主体的に行うことができる。

2. 客観的に観察・分析し、論理的に思考する力

幅広い教養と経済学・経営学分野の基礎的・専門的知識に基づいて、現実を分析し、論理的に思考することができる。

II-1 物事の本質をつかむ分析力と論理的思考力を身につけている。

II-2 客観的、論理的に思考し、柔軟な考察を展開できる。

以下の情報は、2018 年度以前の入学生用です。

3. 経済社会で実践し解決する力

経済学・経営学分野の基礎的・専門的知識を適切に応用することができ、経済学士としての実践力と問題解決能力を身につけている。

III-1 経済学・経営学分野の知識と分析ツールを実践するための基礎基本を身につけている。

III-2 各専攻が掲げる専門力量を身につけ、それを応用して、問題を発見し、分析し、解決案を創出することができる。

専攻ごとのディプロマ・ポリシー

経済分析専攻

ミクロ・マクロ経済学での諸議論を通して経済のしくみを体系的に理解し、得られた知識を、金融・公共経済をはじめとした経済システムの分析とそのあり方に関する実践的な考察に応用することができる。

国際地域経済専攻

経済学的素養に基づく理論的、歴史的、政策的見地に加えてグローバルな知識を身に付けて今日の経済社会を理解し、国際社会と地域社会の課題に理論的実践的に取り組むことができる。

企業経営専攻

企業活動に対し、外部環境を踏まえて定量的・定性的に分析するための専門的知識を有し、それを応用して企業およびその他組織における適切な意思決定ができる基礎的力量を身につけている。